

市民協働事業提案制度 相互評価シート

令和2年度実施事業

年 月 日

事業名	ラジオエフ「富士市民SDGs宣言」事業 2020年度		
団体名	富士コミュニティエフエム放送株式会社	担当課名	企画課

■ (1) 市民協働の観点から

「目的の共有」「役割分担」「十分な意思疎通」「対等性」「相乗効果・波及効果」についての成果・課題や、双方の評価点が異なる場合の協議内容など。

SDGsについて、普段の行動が繋がっていることを広く市民に認知していただくことを目的として協働したが、その点を最も高いプライオリティとして本事業を進めることができ、十分に意思疎通ができたものと互いに認識している。また令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により予定した事業を急遽変更することになったが、市が発注者として受託者の創意工夫を阻害することなく、また受託者も市の想いを尊重し、それぞれの得意分野を尊重する対等な関係で進めることができた。

■ (2) 事業内容の観点から

「目的・目標の達成」「事業スケジュール」「費用対効果」「市民満足度」についての成果・課題や、双方の評価点が異なる場合の協議内容など。

当初の予定では、ラジオ番組のほか、イベント出展やSDGsゲームによる啓発を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対応のため、急遽取りやめ、ラジオ番組を中心として実施した。

これら大幅な事業内容の変更があつたにもかかわらずスムーズな対応により事業期間を十分に与えることができ、結果、社会人、高校生などが宣言やインタビューに応じ、その出演者が自ら社内広報やメルマガなどで扱うなど、行政のみが啓発した場合と比較し、SDGsの認知度を大幅に向上させることができたものと評価している。

■ (3) その他、課題やその改善方法など

新型コロナウイルス完成症対策のため、令和2年度に実施予定であつたイベント出展やSDGsゲームを実施することができなかった。令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策が必要ではある者の、代替する方策などにより、同等以上の成果が得られるよう、お互いに協力して事業を進めたい。